

# なかふくら

～花と作文とあいさつの学校～



南九州市立中福良小学校

## 年をとってもゲートボールをして、楽しく暮らしたい

校長 折田 明世

中福良小学校の子どもたちは、ゲートボールに親しんでいる子どもがたくさんいます。

きっかけは、11月の地域が育むかごしまの教育県民週間の期間に、地域の方々との交流を企画した際に、ゴールドクラブの方々に教えて頂いたことだと聞いております。

そして、松清さんと西野さんが昼休みにゲートボールの指導をしてくださり、子どもたちがどんどんうまくなっていきました。

それが、コロナ禍で、この2年間、ほとんど活動ができていません。

今年の夏、今までの活動の縁で、筑波大学から、ゲートボールの交流の話をいただきました。ゲートボールを体育の授業で行うプロジェクトへの参加です。

以前は盛んに行われていたゲートボール。それが、今は、グランドゴルフが主流になっています。そのような状況の中、ゲートボール協会は、起死回生の策として、小学校の体育に、ゲートボールを採用してもらおうと努力しています。小学生の頃にゲートボールに親しんでもらったら、ゲートボールは年をとってからもできるので、生涯スポーツとして楽しんでもらおうというわけです。

ゲートボールが愛される理由、それは、健康効果です。

たくさんの仲間と行うことで交流が生まれ、笑い、ストレスが軽減されます。また、ホールをめざしてボールを打つこともやはり、老化の防止になります。運動強度は高くありませんが、心をほぐし活力を与えるという点では、ゲートボールほどいいものはありません。

と書いてある文章がありました。

今回、中福良小学校の子どもたちが筑波大学と提携して、ゲートボールの体育授業に取り組むことになりました。このことをきっかけとして、全国の子どもたちが体育で取り組むことになったらすごいと思います。

ここ2年間ゲートボールから遠ざかっていた子どもたちですが、

「マイラケット家から持ってきていいですか。」

と聞きに来る子どももいます。このことで、また、中福良小でゲートボールがブームになってくれれば嬉しいです。

# 地域が育む「かごしまの教育」県民週間



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定していた内容で取り組むことができませんでしたが、保護者や学校評議員のみなさん、そして小学校の教員正式採用が決まった本校卒業生が、子どもたちの学習活動の様子を参観してくださいました。



## 学習発表会



1・2年生の元気な群読と軽快な一輪車と鍵盤ハーモニカの演奏、3・4年生のリコーダー演奏といちご大作戦の発表、5・6年生はビブリオバトル風のB-1グランプリと、今年度、学習で身に付けたものを工夫して発表してくれました。発表してくれた内容の今後の成長が楽しみです。参観者制限や検温表提出など感染症対策へのご理解とご協力ありがとうございました。

### ◆ 12月の主な行事予定 ◆

1	水	人権旬間（～11日） 人権教室②③
2	木	持久走大会②（予備3日） 学級PTA
9	木	市特別支援学級交流会（オンライン）
11	土	いも料理作り①～③（1・2年） 家庭教育学級人権学習（1・2年保護者）
12	日	PTA門松づくり（予定8:00～）
16	木	掃除週間（～23日）
24	金	2学期終業式 <u>※給食あり</u>

令和4年1月11日（火）3学期始業式

### 子どもたちの輝き

#### 第58回南日本硬筆展

推薦	6年	
	4年	3年
金賞	6年	5年
	4年	3年
	2年	1年